

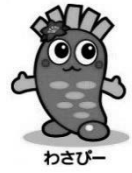


おくたま

第209号

令和6年5月5日発行

町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/>

第1回定例町議会

第1回定例会は、3月1日から3月15日までの、会期15日間にわたり開催されました。

令和6年度予算

令和6年度の各会計予算は、本会議第1日に提案され、議長を除く9名で構成する予算特別委員会に審査が付託されました。3月8日、13日の2日間にわたり開会された予算特別委員会で、内容説明、質疑等が行われ、15日の本会議で採決の結果、次の全8会計とも賛成多数により可決されました。

○議案第30号

一般会計

○議案第31号

都民の森管理運営事業特別会計

○議案第32号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○議案第33号

国民健康保険特別会計

○議案第34号

後期高齢者医療特別会計

○議案第35号

介護保険特別会計

○議案第36号

下水道事業会計

○議案第37号

国民健康保険病院事業会計

予算特別委員会質疑

○一般会計

歳入

・国有資産等所在市町村交付金の内容

・庁舎建設における森林環境譲与税の使途について

・森林環境譲与税の仕組みと増額の理由

・ふるさと納税寄付金見込み額及び使用目的細分化の理由

歳出

・ふるさと納税ポータルサイトの掲載について
・西川線林道などの林道の補助金について
・長寿ふれあい食堂推進事業費補助金内訳と多世代交流について
・森林資源を活用した魅力創出事業補助金増額についての検討状況
・伐採した木の有効活用と木質バイオマス推進事業

・棚沢地内町有物件解体工事及び棚沢地内用地買収費の内容
・BPR支援事業委託の内容
・電子計算開発費の委託内容及び委託期間
・電子計算開発費、委託料を5千万円増額することによる効果と効率化
・旧レイクサイド奥多摩建物管理補助業務委託の内容及び当該建物の今後の活用についての検討状況
・氷川地内水槽解体工事の内容
・町有林伐採搬出等作業委託の対象地と伐採後の植林予定

その他の町長提出議案と結果

賛成多数により、原案のとおり可決されました。

―― 条例等 ――

○議案第1号

奥多摩町長期総合計画審議会
条例

○議案第2号

奥多摩町事務手数料条例の一部を改正する条例

○議案第3号

奥多摩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○議案第4号

奥多摩町介護保険条例の一部を改正する条例

○議案第5号

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

○議案第6号

奥多摩町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

について

- ・電子計算システムの移行による住民へのメリット
- ・福祉モノレール等整備事業費の内容及び事業周知について
- ・社会福祉協議会補助事業費増額の内容
- ・生ごみ処理容器等補助金の上限額について
- ・高齢者インフルエンザ予防接種について
- ・認知症地域支援推進事業の実施内容及び実施場所
- ・西秋川衛生組合負担金を町が負担している経緯
- ・地域ささえあいボランティア事業の担い手について
- ・出産子育てママパパ応援事業の内容、委託先及び備品購入について
- ・蜂駆除用備品購入内容及び使用対象者、駆除対応について
- ・乳幼児経過観察健康診査事業内容及び検査キット購入について、発達支援が必要となった際の流れ
- ・保健福祉センター管理費、電話機改修工事の内容
- ・不法投棄廃タイヤ等処理委託
- ・農作物有害鳥獣対策事業費、獣害用カメラ購入の内容及び設置場所、活用方法について
- ・農作物有害鳥獣対策事業費、ICTの推進におけるドローン導入の検討
- ・観光ごみ引き取り業務委託内容及びごみ保管場所や処理、鳩の巣溪谷のごみ問題について
- ・観光総務費、テーブルクロス製作委託内容及び用途について
- ・ツキノワグマ緊急対策事業委託の内容
- ・観光パンフレット更新委託の委託先について
- ・木質バイオマス推進事業の補助金について
- ・坂下中井戸線道路新設工事の内容
- ・森林境界確定作業委託の目的及び場所
- ・西川線林道開設工事の内容
- ・林道整備用備品の購入後の活用について
- ・町ふれあい広場事業費、イベント開催時における授乳室のほかにベビーカーを使用されている方への配慮及び工夫に対する予算化について
- ・道路維持費、カラーコーンの購入について
- ・氷川及び川井キャンプ場トイレ改修工事の内容、令和7年度以降の予定
- ・スポーツフェスティバル開催地について
- ・歩く大会の開催について
- ・防災費、簡易トイレ購入内容及び備蓄状況について
- ・古里小学校プール改修計画策定業務委託の内容
- ・カモシカ対応防護楯購入内容
- ・第5分団常磐詰所立木伐採委託の内容
- 都民の森管理運営事業特別会計
- ・山の日全国大会に係る都有施設イベント事業委託の内容及び今後の実施予定
- 後期高齢者医療特別会計
- ・平均保険料及び軽減世帯数
- 介護保険特別会計
- ・居宅介護サービス給付費及び施設介護サービス給付費の内容

○議案第7号

公益法人等への奥多摩町職員
の派遣等に関する条例の一部
を改正する条例

○議案第8号

東京都後期高齢者医療広域連
合規約の一部を変更する規約

――【指定管理者の指定】――

○議案第9号

奥多摩町白丸デイサービスセ
ンターの指定管理者の指定に
ついて

○議案第10号

奥多摩町高齢者在宅サービス
センターの指定管理者の指定
について

○議案第11号

川井キャンプ場の指定管理者
の指定について

○議案第12号

氷川キャンプ場の指定管理者
の指定について

○議案第13号

おくたまコミュニティセンタ
ー（奥多摩温泉もえぎの湯）の
指定管理者の指定について

○議案第14号

氷川駐車場の指定管理者の指
定について

○議案第15号

奥多摩町特産物加工販売施設
（四季の家）の指定管理者の
指定について

○議案第16号

氷川国際釣場の指定管理者の
指定について

○議案第17号

大丹波国際釣場の指定管理者
の指定について

○議案第18号

日原溪流釣場の指定管理者の
指定について

○議案第19号

奥多摩町特産物加工体験施設
（鴨足草）の指定管理者の指
定について

○議案第20号

峰谷川溪流釣場の指定管理者
の指定について

○議案第21号

奥多摩水と緑のふれあい館休
息所の指定管理者の指定につ
いて

――【契約変更】――

○議案第22号

もえぎの湯大浴場等改修工事

――【人 事】――

○人権擁護委員候補者の推薦

小峰 京子氏（再任）

○選挙管理委員会委員

選挙管理委員会委員及び同補
充員の任期満了に伴い、次の
方々を当選人と決めました。（敬
称略）

選挙管理委員会委員

小峰 重徳 三田 信一

原島 富子 原島みちよ

同補充員

新堀 幸一 大和 正幸

岡部美枝子 清水善太郎

――【令和5年度補正予算】――

○議案第23号

一般会計（第5号）

○議案第24号

山のふるさと村管理運営事業
特別会計（第2号）

○議案第25号

国民健康保険特別会計（第3
号）

○議案第26号

後期高齢者医療特別会計（第
2号）

○議案第27号

介護保険特別会計（第2号）

○議案第28号

下水道事業特別会計（第3号）

○議案第29号

国民健康保険病院事業会計
（第4号）

陳情の取扱い

審議されたのは、陳情1件で、
次のように決定しました。

――【趣旨採択としたもの】――

○陳情第7号

「ガソリン価格の高騰対策と
して、トリガー条項の発動とガ
ソリン税・軽油取引税への消費
税課税停止・見直しを求める意

見書」を政府に送付することを
求める陳情書

賛否の分かれた議案

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	小峰 陽一	澤本 幹男	大澤由香里	相田恵美子	森田 紀子	伊藤 英人	榎戸 雄一	議員名 議案番号等
○	○	○	※	○	×	○	×	○	○	議案第 3号
○	○	○	※	○	×	○	○	○	○	議案第33号
○	○	○	※	○	×	○	○	○	○	議案第34号
○	○	○	※	○	×	○	○	○	○	陳情第 7号

【賛成…○ 反対…× ※議長は採決に加わらないが賛否同数の場合は議長が裁決します。】

一 般 質 問

令和6年第1回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、5月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

(1) 6番 澤本 幹男議員 (5ページ)

- ①交通安全協会の現状と今後の応援と対策について
- ②奥多摩町の地震の震度について
- ③施政方針について

(2) 10番 原島 幸次議員 (5ページ)

- ①奥多摩町の積極的な観光対策について

(3) 9番 高橋 邦男議員 (6ページ)

- ①「地域ささえあいボランティア事業」について
- ②「日照確保対策事業」について

(4) 4番 相田恵美子議員 (6ページ)

- ①施政方針について
- ②防災業務に女性参画を
- ③高齢者等の散髪訪問サービスの提案

(5) 2番 伊藤 英人議員 (7ページ)

- ①持続可能な観光立町について
- ②子どもの権利 成長する機会について
- ③減災防災 災害時の対応について

(6) 8番 宮野 亨議員 (7ページ)

- ①「探究型総合学習」について

(7) 3番 森田 紀子議員 (8ページ)

- ①施政方針について
- ②図書館のありかたについて

(8) 1番 榎戸 雄一議員 (8ページ)

- ①災害時の通信インフラについて
- ②消防団の詰所について

(9) 5番 大澤由香里議員 (9ページ)

- ①施政方針について
- ②飼い主のいない猫対策「地域猫活動」について



自民党清新会
さわもと 幹男 議員
澤本

問

① 交通安全協会の現状と今後の応援と対策について
② 奥多摩町の地震の震度について
③ 施政方針について

答

① 「安協」の指導員確保に協力していく
② 奥多摩町内でも震度が異なる
③ 引き続き努力していく

質問1 交通安全協会は「安協」と略してよばれており地域の交通安全を守る実動部隊として活動している。その「安協」の活動が指導員の減少により苦勞している。町は補助金を出しているが、この現状と「安協」への今後の応援と対策について伺う。

質問2 奥多摩町の東日本大震災発災時の震度は2であった。奥多摩地域は岩盤で地震には強いと言われているが震度計の設置場所はどこか。

質問3 施政方針について伺う。①東京都市町村総合交付金は増えているにもかかわらず町の当初予算は変わらない。上乗せをする努力をどの様にするのか。②成果を重視した行政改革の推進をするところがあるが、具体的な内容は。③第6期長期総合計画策定に伴う住民ワークショップを開催したが、高齢者が少なく町民の意見はどう聞くのか。

町長1 「安協」は地域住民による交

通安全ボランティア団体で地域の安全を守るため警察署・町・自治会・事業者と連携して活動している。町は指導員希望者の減少や活動資金不足の課題を把握しており活動に協力する。**町長2** 計測震度計は役場脇の屋外に感知器を設置している。東京都が防災ホームページで公表している地震被害想定震度分布図では奥多摩町でも震度が異なることがわかる。**町長3** ①町の東京都市町村総合交付金は毎年度15億円を超える交付があり、年度当初予算を上回る実績である。町の安定的な財政運営のため上乗せをする努力を今後行う。②新庁舎が建設されるタイミングを見据え、今年度予算にBPR支援業務委託を計上し業務改革を行う。③昨年の7月に住民アンケートを行い高齢者の回答率は54%であり、高齢者の意見はか

なり反映されている。



自民党清新会
はらしま ゆきつぐ
原島 幸次 議員

問 奥多摩町の積極的な観光対策について

答

「観光の目玉」となる観光資源について積極的に情報発信を行い観光客誘致をはかるよう努めていく

質問 奥多摩駅を降りた観光客の方々が自然を味わう中で、奥多摩湖までの「奥多摩むかし道」を散策されている。むかし道の入り口までがわかりにくいと言われる方がいる。もっと誘導したり、案内する必要があるように思われる。奥多摩駅を出たところに24時間いつでも町のパンフレットを取得できる観光PRコーナーの設置ができないかと考える。町内には紅葉の時期になるとあちこちでモミジなど紅葉する木などが見られる。その中には大木で記念物になるような木もあり、四季折々に一本でも観光の目玉になるものもある。本でも観光の目玉になるものもあると思われるが、町はそれらの調査を実施したことがあるのか、なければ自治会や土地地権者の協力により調査し、町の観光の目玉にすることはできないものか、町の考えは。

町長 「むかし道」の誘導看板の設置について、観光協会に確認したところ

ろ、初めてむかし道を歩かれる方で、南氷川の国道からの入口や、その先のむかし道の入口である左折箇所など、分かりにくい箇所があったとの声が確認出来たので、誘導表示の設置も含め、分かり易い案内ができるよう観光協会とも連携し検討していく。奥多摩駅を出たところに24時間いつでも町のパンフレットを取得できる観光PRコーナーの設置については、奥多摩駅構内の空きスペースに設置が可能か今後Jと協議し検討していく。平成20年度に、21集落ごとに集落全図、歴史、見どころ、宿泊施設などを掲載した「奥多摩山里歩き絵図」を作成し、むかし道のいろは楓や巨樹・巨木及び各地の紅葉の見どころを紹介するなど、「観光の目玉」となる観光資源について積極的に情報発信を行い観光客誘致をはかるよう、町の魅力発信に努めていく。



山なみ会
たかはし 高橋 邦男議員

問 「地域ささえあいボランティア事業」について

答 協力会員を確保し、利用の促進を図る取り組み方針を継続する

質問 「地域ささえあいボランティア事業」は過疎化・高齢化が進む当町においては、外出援助・足の確保という面において重要な事業である。この事業は住民ボランティアの協力を得て、医療機関の送迎や買い物などを援助する事業で、利用者が一定の料金を払う「有償ボランティア事業」である。このシステムはお互いに気兼ねなく利用でき、地域の支え合い意識の推進にも繋がる事業と言える。今後、この事業を充実し持続させていくためには、利用者の負担軽減と協力者の確保が必要であるが町の見解を問う。

町長 この事業は、町が社会福祉協議会に事業委託して実施している。利用会員や協力会員のご意見を伺いながら、社会福祉協議会事務局と所管の福祉保健課で協議を行い、昨年3月実施要項の一部改正を、10月にはボランティア募集説明会を実

施したところである。具体的には、車の送迎等の加算分(保険代) 1回50円を廃止し利用者の負担軽減を図り、協力者の確保としては、社会福祉協議会職員と町職員による合同の説明会を実施し、ボランティアの募集を行った。協力会員は6人増の52人、利用会員は4人増の182人になった。利用回数については、令和4年度は年間666回と4年前の420回に比べ大きく増えている。この事業は、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活を継続するため必要不可欠な事業であることから、令和6年度に向け、この事業の他「各種配食サービス」の担い手の確保としても町内事業者単位で協力体制を構築できないか検討を重ねている。また「地域高齢者支援計画」においても、制度の周知を行い、協力会員を確保し利用の促進を図る取り組み方針を継続して掲げている。



ガジュマルの会
あいだえみこ 相田恵美子議員

問 防災業務に女性参画を

答 女性の参画や災害時の女性への配慮を進めていけるよう協議、検討を行う

質問 令和3年に災害基本法が改正され、町の地域防災計画には「男女双方の視点に配慮した防災対策を推進していく」と記されている。内閣府のデータによると全国の市区町村では女性の防災職員がゼロという自治体が55%であり、奥多摩町もゼロ自治体の中にある。国は女性職員の参画を促しているが現状は進んでいない。生理用品や下着などの救援物資を男性職員から受け取る抵抗感は当然であり、授乳や着替えなどへの配慮も必要。計画を推進していくためには、女性の防災職員の視点が必要だと思う。地震に限らず自然災害は、時・場所・そして人を選ばない。「備えあれば憂いなし」と言われるが、備えの中に女性視点は必須である。今後、町地域防災計画の目的に沿って、職員だけではなく、町の防災業務に女性の参画をどのように取り組んでいくか。

町長 町の地域防災計画のなかで、防災会議などへの女性参画の拡大、備蓄品の調達や避難所運営における女性への配慮に関する具体的な留意事項などをうたっている。防災会議への女性の参画は防災計画条例に基づき自衛隊や警察、消防、東京都各局、町内関係機関の職に就いている方を委員としている関係上、委員26名中女性2名。町も防災・危機管理を担当する総務課交通防災係3名はすべて男性である。現段階では町として具体的な対策は答えられないが、令和5年4月に女性消防団員として7名が入団、女性の視点を生かし地域の防火・防災に参画が可能になった。今後、地域防災計画や災害時の役場庁内態勢、行政組織を見直していくなかで、女性の参画や災害時の女性への配慮を進めていけるよう、協議、検討を行う。



どんぐり
伊藤 英人 議員

問 子どもの権利成長する機会について

答 新計画策定と条例改正の予定
子どもたちと直接対話できるような研究

質問「奥多摩町子ども・子育て支援推進条例」策定から15年ほど経つ。「こどもの権利」という考えの普及、奥多摩町での子育てや教育環境への考えも多様化し、社会の一員である子どもの主体性や権利を明確化した子ども・子育て支援策の推進が求められる。

①「子ども・子育て支援推進条例」の改定、または「こども基本条例」「こどもの権利条例」などの新設は。
②インフラ・学習環境の整備(公園、水泳など習い事の施設がない)、地域資源活用(日常的に安全に自然にふれる場所、機会がない)を求める意見が、子どもや保護者から以前から聞かれるが、いまだ抜本的に改善されていない。
子どもが意見を表明し町政に反映されることは、子どもの大切な権利の行使と尊重であると同時に、ニーズをとらえた施策の実現のほか、自身

の意見が聴き入れられ町に変化をもたらしたという経験が、子どもに自己肯定感、自信、主体性をもたらし成長する機会となり、町を発展させるといふ循環を生む。

子どもの意見表明、政策への反映等について、町の考えは。

町長①(仮称)奥多摩町こども計画」を策定予定。計画策定は子ども・子育て会議で協議し、その中で、「子ども・子育て支援推進条例」についても見直し、こどもの意見表明の機会などを反映して一部改正を予定している。なお、「こども計画」の策定に向けてニーズ調査対象・方法、パブリックコメントの実施方法などを見直す予定。今後の改定でも、こどもからの意見を聴き、施策に反映する機会となるよう検討。
②教育委員会や学校と協議し、町と子どもたちが直接対話できる取組の実施について研究していく。



公明党
宮野 亨 議員

問 「探究型総合学習」について

答 総合学習の時間で、自ら課題設定・解決する探究的な学習を実施している。

質問長野県伊那小学校の公開学習指導研究会に参加。子供達の内から育つ力について研修を受けてきた。40年以上も前から教育課程の中心に「総合学習」「総合活動」を置いている。全学年が学級単位で探究的なテーマに取り組み、1・2年生では、「自然・社会」「言語」「数」「表現」「道徳教育」「特別活動」の領域を総合的に学ぶ「総合学習」を展開。3・6年生は、テーマに沿った「総合活動」を中心に教科学習も並行して学んでいく。60年以上通知表・時間割・チャイムもない。学級のテーマは、子供達が話し合い、意見交換などを活発に行っており、目が生き生きとして、表情からホッとする柔らかさを感じた。子供たちの主体性を尊重した実践を続けてきたのか、学ぶべき点が多い。町では山葵栽培体験など行っているが、もっと自然を取り入れ生かした教育に力を入れ、お年寄りの知恵・

力を借りて町全体でこども教育を支え育てていけば移住者も増えると思う。町としての取り組み方、方向性や意見を伺う。教育長 当町の小・中学校では、「総合的な学習の時間」において、児童・生徒自らが課題を設定し、解決する探究的な学習を実施。小学校では、「奥多摩学習」として、地域の自然や産業等について知ることからはじめ、自分たちに出ることを考え、実行する活動を計画している。中学校では、「奥多摩イノベーション」として、郷土に貢献することを目指し、テーマの設定から年間活動計画の立案まで、生徒が主体となり取り組んでいる。地域の人をゲストティーチャーとして学校に招き、指導を受ける活動も実施。教育委員会も子どもたちの学習には地域の力、目の前の大人の存在が重要と考えており、地域の協力をい

だき、より一層の充実に努めていく。



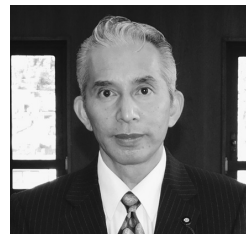
宇宙会
も森田
のりこ
紀子議員

問 施政方針について

答 奥多摩の魅力を生かした、子どもの遊び場について研究する

質問 令和6年度の主要な事業で「安心して子どもを産み育てる地域づくり」では、「過疎化による少子高齢化が進む当町において、子どもや子育て家庭の環境づくりのため、結婚、出産、産後ケア、子育てまできめ細やかな支援を行う。特に、重点施策の一つとしている少子化・定住化対策を継続し、子どもや子育て世代の増加を図り、自治会等による地域の絆の維持、活力の向上に努めていく」と表明があった。東京都の補助率10分の10である「子供の遊び場等整備事業補助金」を使って奥多摩の魅力を生かした事業の推進や公園作りについての所見は。

の自然を活用したプログラムを実施しており、令和4年度及び5年度には「溪流釣り体験と奥集落」、「夏の昆虫観察」、「餅つき&カモシカに会えるカモ!?!冬のウォーク」、「海沢林道蛍鑑賞ナイトハイク」を実施した。また、この補助金は遊びの場の基盤を整備する事業であり、その後の管理運営費、ランニングコストは市町村で賄うことになる。広範な面積に住宅が散在していること、急峻な山岳地帯が多くを占める地形であること、まとまった面積の平坦地が必要となる公園を新規に整備することは困難な状況であるのが現状であり、この都補助事業を活用した「公園作り」は難しいが、今後もし隣住民や地域の保護者等の理解を得ながら、既存の公園などを活用して奥多摩の魅力を生かした、子どもの遊び場について研究する。



自民党清新会
えのきど ゆういち
榎戸 雄一議員

問 ①災害時の通信インフラについて ②消防団の詰所について

答 ①役場に配備予定、研究検討していく
②施設装備の近代化・整備を推進する

質問1 地震では生活インフラに大きな被害をもたらしている。災害時の通信インフラは制限や基地局の被災などで機能停止も多発する。総務省も災害に備え孤立が予想される地域に衛星型インターネット回線「スターリンク」を推奨している。携帯電話でインターネットが利用できる環境は重要である。町の災害時の通信インフラ対策について伺う。

質問2 消防団員は他に本業を持ちながら、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき活動している。拠点は詰所と言われ消防車両や資機材の収納場所である。平常時は教育・訓練に、災害時は活動拠点として重要な役割を担っている。しかし立地条件や移転先の問題で老朽化した詰所を使い続けている詰所も存在する。地域防災力の重要性を考慮し、建て替え計画について伺う。

町長1 町では防災行政無線のほか消防団にIP無線及び衛星無線を配備し情報通信体制を確保している。能登半島地震では「スターリンク」が活用され通信環境に大きく貢献したと報道された。令和6年度中に都内の役所・役場に可搬型スターリンクの配備予定があり、今後の東京都からの情報を確認しながら通信インフラの研究検討をしていきたいと考えている。

町長2 消防団詰所は財産処分制限期間を基準とし構造により17年から38年を目安に建替えを計画している。第4分団第1部詰所は既に43年が経過し老朽化している状況にある。当初の予定地は既存建物の解体費用が多額の費用を要する為、予定地を再検討する。地域住民からも早期建設に向けた意見も多く、消防団や自治会などの意見を取り入れ引き続き整備等を推進していく。



日本共産党
おおさわ ゆかり 議員
大澤由香里

問 飼い主のいない猫対策「地域猫活動」について

答 今後もボランティア団体とより一層連携して、地域猫活動を広く定着させていきたい

質問 「地域猫活動」とは、猫の繁殖を抑え、餌・トイレ等を地域で適正に管理することで、飼い主のいない猫が今以上に増えず、かつトラブルも減らしていくための活動であり、地域住民とボランティア、行政との協働を特徴とする。地域猫対策は、ボランティア団体の活動に大きく依拠されることからその活動の継続性が保証されなければならず、行政の支援が不可欠。①成果と課題は。②理解促進・啓発のこれまでとこれから。③財政的支援の考えは。

町長 ①これまでに飼い主のいない猫に実施した不妊・去勢手術の件数は、平成30年度は20件、令和元年度が48件、2年度が59件、3年度が105件、4年度が63件、5年度は1月末現在で32件の合計327件、不妊・去勢手術の件数が減少傾向にあり、各地域における猫被害の苦情件数も減少し、ふん尿のにおいが減るなど被害防止が図られている。地域

猫活動を継続するためには、地域住民の方に活動内容を理解していただくことが必要であり、広く定着させていくことが課題。②ホームページの掲載や自治会回覧により普及啓発を図っている。「広報おくたま」ではボランティア団体と連携して、令和5年度から子猫の里親募集を掲載。4年度では17匹、5年度では7匹を里親へ引き渡した。③令和元年度から4年度にかけて18器の捕獲器を購入し、貸し出しをしている。消耗品は、令和2年度から環境衛生総務費に予算計上し、保護した猫の餌や猫砂、ペットシート等、年間5万円程度の消耗品を購入し支給している。財政措置以外にも職員が立川市の動物病院へ移送する手伝いをすることもある。財政的支援については、今後、近隣市町村の補助要件を参考にし、ボランティア団体の意見を伺いながら検討する。

次回6月第2回定例会日程(予定)

議会運営委員会 5月30日(木)
本会 議 6月11日(火)、13日(木)
18日(火) 一般質問
陳情受付期間 5月28日(火) までに直接お持ちください。

会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 議会事務局
☎0428(83)2302(直通)

議会だよりのご感想をお寄せください。
また、議会に対するご意見ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

請願・陳情は！
6月定例会では、5月28日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。
①請願には必ず1人以上の紹介議員が必要で、(陳情は不要です)
②請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名(記名の場合は押印)してください。
③提出は議会事務局へご持参ください。(郵送不可)
④詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

議 会 日 誌

2月

1日 西多摩郡町村議会議長会主催第43回議員大会
5日 国民健康保険運営協議会
7日 環境審議会
13日 三か町村連絡協議会総会・懇親会
14日 東京都町村議会議長会第2回定期総会・行政懇談会

16日 西多摩郡町村長・議長合同会議
17日 第56回青梅マラソン大会開会式
19日 西秋川衛生組合及び秋川流域斎場組合議会定例会
21日 議会全員協議会
22日 議会運営委員会
25日 例月出納検査
28日 ひな展コンサート
西多摩地域広域行政圏協議会審議会

3月

1日 第1回定例会
2日 第8回「山の日」全国大会プレイベント式典
5日 第1回定例会

4月

7日 第1回定例会
8日 予算特別委員会
9日 第20回「おくたま作文コンクール」表彰式・講演会
10日 第34回東京都平和の日記念式典
13日 予算特別委員会
14日 西多摩町健康づくり推進協議会
15日 第1回定例会
19日 奥多摩中学校卒業式
21日 例月出納検査
22日 奥多摩ふれあい広場フェスティバル実行委員会
23日 青梅・奥多摩交通安全のつどい
25日 古里小学校卒業式
27日 氷川小学校卒業式
31日 奥多摩町下水道事業運営委員会
長田一雄氏瑞宝単光章受章祝賀会

1日 小・中学校教育管理職及び教職員等の辞令伝達式
5日 奥多摩町体育協会設立60周年記念式典及び令和6年度総合開会式
7日 奥多摩山開き式
8日 古里小学校入学式
水川小学校入学式

9日 奥多摩中学校入学式
西多摩地区消防団連絡協議会理事会・懇親会
11日 議会だより編集委員会
12日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会監事会
16日 小口事業資金融資制度等審議会
17日 議会だより編集委員会
25日 例月出納検査
26日 西多摩郡町村議会議長会定期総会・懇親会



奥多摩むかし道にある牛頭観音

編集後記

牛頭（ごず）観音という、めずらしい石仏が町内のむかし道にあります。ウマを祀る馬頭観音と同じく、ウシの供養や無事を願ひ建てられました。ウシやウマは、現在の車やバイクのように身近で、貴重な労働力で家族でもあり、荷運び、農業、林業、時には子どもの遊び相手にも、活躍したことでしょう。フンは肥やしになります。今では、ウシやウマはあまり見かけませんが、サルやシカなどの野生動物にはよく出会うようになりました。しかも、人間とは敵対関係です。日常的に人が自然から恵みをもらい暮らしていたころは、同時に、人が自然に恵みを与え、お互いの配慮と感謝を動物と人がしていたのかもしれない。人と自然は、もつと共生、共存できると、牛頭観音は語りかけているように思います。

伊藤 英人 記
榎戸 雄一 相田恵美子
澤本 幹男 高橋 邦男